京城新報

●新聞料 ▲一部金… ▲一ヶ月… ▲三ヶ月… ▲六ヶ月… 前金…
●廣告料 ▲…行一回金三十錢 ▲…活字一行金…
●陰曆 十一月廿五日
發行兼編輯人 印刷人 山下[illegible]
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三

一年雜記　對星樓山人

宿引生涯

明治四十年も數日を經て終るべく年傾きぬ、浪人の閑日月中題して一年雜記として永らく新報讀者に相見ねたり、今や此一年の終と共に一年雜記のページを終るべく、玆に宿引生涯の一項を設けたり。回顧すれば半島生活も前後十四年となりぬ、將來の事を推想し來れば、宿引生涯程面白く、又面白き道樂なるはなし。破れたる古城の城壁に攀ぢて五百年の興亡を歌ふは朝鮮初戀の詩人なりき、まして漢文筆談にて政治の得失などを論談せしは初戀の醒めし時なりけり、爾來玄海を往來すること幾十回、漢城の生活、韓人の研究は吾人をして次第に惡魔の如くに退化せしめ、玆に宿引生涯の看板を懸けたりしこそ面白けれ。今日ですら盲目連中の聖人君子的政事家は宮中肅淸とか迷信して伏魔に勝さる宮廷の御世話に身を窶つせるもの無きにしもあらず、されば下らぬ韓人黨士の口舌に寄せられて自分免許の偉人を氣取りて成功談を土產にせるも無理ならず、賄賂は黃金の惡手段なりと罵り乍ら、盆正月に念の入りたる賄賂に內心滿々と喜びつゝ、一夜[illegible]より韓國の[illegible]人間の歷史を飾る光彩なりと自惚れ居るものあるべし。さても漢城に橫行せる浪人や、ゴロツキや壯士相手に韓人の善惡是非を口外にするも無し、官吏や、商人や、坊主や乃至醫者や、皆其本心の根本に韓人を以て、各一攫千金を夢みて各自の所得を大ならしめんと欲するものなり、只だ如何せん、相手は韓人なり、其宮廷に於ては太皇帝陛下と申す、非凡の政事家あり、其以下氣の拔けたるヤンバンに至るまで、少しも油斷ならぬ人物にて、其頼もしく賴む所は悉く韓人相手に各發展せんとするものは、一の金山を發るにも、一の外交事件に出會するも、一の土地を買はんとするも、皆吾人宿引黨の[illegible]なり、以て通過することも能はざるも又[illegible]ならずや。

宿引とは南大門驛より初見の旅客に[illegible]て迷ひ込むものを[illegible]、之を政事にしては復雜不思議なる漢城政界の御天氣を先づ[illegible]測するものを云ふ、又個利益よりせば宿引無くして其成立を害くしたることなし、只だ宿引の本場に弁ずして宿引の提灯をさげて御客を引くなどは抑も國を誤り、產を破るの基にして、自衞團の効能無かりしも荒無地貸渡しが有耶無耶で實効無きも初戀の艶文と見て可なるべし。國を飾るの美術は五百年前の高麗燒を墓中より發見するの外例一つ無く、文學は僞忠臣の檄文位なるべく、大陸文明の苔花したる殘物以外に敬重すべき文明史なき國民に對して赤心を明けて詩を歌ひ、民を愛ふるの狂言を爲す穩氣も出來ざれば、已む無く十四年の生涯を宿引看板に托しぬ、今後宿引生涯も亦た擴張せざる可らず。

覆面を脫ける日本

本篇は英人マッシチー氏の所述にして「貿易」より轉載したるもの也

▲確實なる產業　一時の大景氣は雲散霧消すべし而かも確實なる產業の進步は永久に留るべし日本商業の發達は投機熱と同等の關係を有せざればなり、蓋し日本產業の基礎は政府が過去二十年間に於て才俊の士を選拔し遠く之を海外に派し商業上及び製造業上の智識を修養せしめ、今や之を實際に應用しつゝあるなり余は昨年の夏米商會に其社長を訪問したり彼は米國に於て教育せられたる貴族の男にして今や日本に於て最も大にして又最も繁昌しつゝある製造業會社を管理しつゝあるなり床上に一枚の敷物なく壁紙室內に一の裝飾品を發出せず唯人造椅子二三脚あるのみ快活なる眼附の熱心らしき事務長は大なる平板なる面かも中古の机を前に電話機を右にして端座せり彼の後には長椅子あり又其側に机あるを見る。

▲某社長は語る　彼は語れり「此部屋には何等不必要の裝飾品はありませぬ此所に在る長椅子は終夜勤務する時に眠る爲めに備へて居るので僕は三百六十五日此事務所に在つて公開的仕事をして居る、日本には荷も人の立つ者は人に先づて苦しみ人に後れて樂しむと云ふ諺がある僕は午前八時に此所に來て晩の七時迄事務を執るが英國と比較したら隨分長いでせう併貴國は當國で我々は我々の遣方をやるのだ僕は今六千人を使役して居るが其の監督又は工長の仕事及び行賞を見るのが僕の勤で每年此等の人に賞與を支給するが工長以下は工長が之を配與するが其以上は僕の意識でやらねばならぬ若し此意識が付かぬ樣になつたら其時は卽ち僕が辭職する時だ」さ、

▲強健なる小兒　設立以來年所を經たる會社に於て發表せられたる利益配當は勿論各差等ありと雖も、一紡績會社は四割、主なる銀行は一割乃至一割二分、一鐵道會社は一割四分、他は一割四分七厘又は一割五分にして株式仲買人の公表せる相場表を見ば此等は凡て一目瞭然たるものあらむ之を要するに日本の商業は猶幼稚なるを免れず而かも彼は强健なる小兒なり

棉糸貿易の前途

▲大阪に於ける感想　余は大阪の大街に立ちて周圍を展望したり而して余の胸裡に起れる感想は是れ猶日本なりしかといふに在りき道の傍に流るゝ川は泥色を帶び惡臭を放ちつゝむさくろしき小舟の常に上下しつゝあるを見る、眼界を遮ぎる大工場の煙突は常に漆黑なる煤煙を排泄しつゝ天空は暗濁なる水蒸氣を以て蔽はれむとす、四邊に連れる長き汚れたる倉庫の外木造小屋は小奇麗なる家屋と點々相接して不潔に汚染し去られ薄暗く濕り勝ちなる空氣は宛然として是れ十一月に於けるマンチエスター也、女子の一團は憐れなる服裝して長時間の勞働に疲れ果てたるものゝ如く余の傍を沿ふて過ぎ去れり彼等の間には九歲十歲とも覺しき小女も混じ居り此等も其の姉樣と同じく工場勞働に終日を送れるなり是に於て吾人は彼の美しき日本の娘は今何處にありやとの想を起すを禁じ得ざりき、

嗚呼日本は日本の慾望を充んと努つゝあり而して是亦其慾望より起る一現象ならずや

▲棉糸東洋貿易　棉糸は東洋貿易の主にして英國は此市場にて最も多量の輸出をなしつゝあるなり故に東洋人が英國の高等棉類を購買するの盛否は英國將來の繁榮に關係す從て此市場にして英國品を排除するに及ばゝ、ランキアシャイヤーは最も大なる打擊を蒙むらざるを得ず

▲日本棉糸の進步　吾人は一時日本は棉業に於て到底吾人に對する重大なる競爭者たる能はざるべきを思ひたる事あり日本人は手工には巧妙なるも機械の運用には適せざるなり日本の要する資本は殆ど英國に二倍し而かも日本は自國に於て棉花を生產する能はず、

又日本は精細なる棉糸を製する能力を有せざりき故に日本人の製品は價格は廉なるも粗製品のみなりき從て日本紡績工場は其の有する機械の全部を運轉せる時に於ても其生產高は僅少なりしなり然れども過ぐる數年間の變化は吾人をして稍々不安の念を起さしめたり日本の生產額の大に增加したるのみならず從來のものよりも更に高等品を製出するに及び彼等は英國人が曾て經營せざりし小幅物に依て販賣し盛に滿洲なる吾人の市場に突擊を試み來れり

黃州興業會社

韓國興業會社は殖產農事に關する經營者として韓國中其規模の大にして最も有數なるものに屬するは人の知る所なるが黃海道黃州に在る同社は就中其規模廣大にして農場は六千町步に亘りて之に對する小作人約二萬人ありて其內較々有力なるもの卽ち殖民坊長等(八十名)を以て事務又は畔作等を監督せしめ(四ヶ所に農舍あり日本人之を監督す)殆ど一の自治的町村を形造れり今其經營狀況を聞くに會社の主眼とする所は農具の改良肥料及土地の改善にありて農具に就ては彼の歐州に於て行はるゝ「プレーリイプレーア」(馬車仕掛の畔作器械)を取寄せ試用したるもの充分効果を奏せず(韓國には不適當なり)作物は一般分裂を持たずして蒼貢するを例とすれば日本の寒氣の爲め不結果に終る肥料は人造肥料を得難きより是亦充分の事に至らず近々綠肥(蓮華草の種子を植ゑて之が青葉の中に土中に埋めて肥料とする)を試用する筈なり農場に於ける各農舍の重なる所に百石乃至百五十石の穀類を容るゝに足る倉庫五六ケ所あり別に黃州の本事務所に二萬圓の建築費を要したる廣大なる倉庫を備ふ而して農場全部六千町步に對する小作人は約二萬人あり本年の作物としては土地の滋潤肥料等も充分の事に至らざるも猶大豆一萬石粟千石小豆千石を產出せり收穫時に當り各農場の倉庫に容るゝ能はざる作物は時々黃州本事務所の倉庫に送り來る約六七十頭の牛車には山の如く積載し絡繹として田野に續くもの洵に一種の偉觀たるを失はず同會社の計畫は元來永遠的に成るものなるが故に現在に於ては徐に土地の改良作物の多額を望むと云はんよりは先づ根本的之に從事する小作人の富を圖るの必要あり爲に目下普通農事作物の外に副業として(一)養蠶に努め桑の改良(二)家畜の改良(三)果樹の栽培等を計畫着手せり養蠶に就ては韓國の桑は頗る不良なるを以て晉桑の苗を取寄せて試植し其他適良なるものを以て嗣樹の法に依り漸次改良しつゝあり家畜は重に養豚なるが是亦韓國の豚は最も不良なれば西洋種にして韓國に適する米國の「バークシャイア」(黑色)及「ヨークシャイア」(白色)の二種を取寄せ試畜中なり「バークシャイア」は其体強くして飼ひ易きものなるが之等を以て不良なる韓國種の豚に交尾を圖り其間に生じたる雜種をして更に純粹洋種と交尾せしめ幾回か斯の如くして終に殆ど純然たる洋種に異ならざる良好のものを得んとす果樹栽培に至りては梨柿桃林檎葡萄等を培植し其他「ツック」の原料に供する亞麻、太麻、麥酒の原料に供する「ゴールデンパロン」等を試植しつゝあり亞麻大麻は普通韓國人の手にて「タカハタ」(手織器械)を以て製せるを改良し埼玉縣より改良織機を取寄せ試織中なるが韓人の手になる不完全なる手織機械を以てするとは異り右の改良機を以てする時は一日一人にして裕に二反を織上る事を得べしといふ果樹の內培も同會社の力を用ひつゝあるは之が發見されたる爲め一時歐洲經濟界を動搖せしめたる「シュガービート」(砂糖の原料)にして右は少數を栽培しては利益なきも充分の大仕掛を以てする時は頗る有利なるものにて尤も韓國の土地に適し成樹の上は一本の「シュガービート」に就き普通歐洲邊にて平均十五の糖分を有すれど同會社にて試植せるものは昨年の成績に依れば以上の好果ありしと云ふ尚は其他に南韓には地方の綿をも試培しつゝあり兎に角同會社の將來頗る有望なるものと云ふべし因に同地は多數の暴徒の爲に絕て損害を受る樣の事はなく殊に郡守韓貞奎氏は頗る其職に盡瘁し居住民の便益を圖るに努め居るを以て日韓人共に其德を稱し居るといふ

仁川第三期貿易商況(二)

(自七月至九月)

本季の貿易に於て注意すべきは前年同季に比し貨物の輸出入に於て九十二萬七千餘圓を增加せしこと及び歐米の輸入が著しく增加せしことにて是れなり貨物の輸入が增加せしことは韓國開發の大勢に促されたるものと認むるの外なしと雖も歐米の輸入が斯く增進するに至たるは蓋し本季に入り初めて見るところの現象なりと今試みに數年の以前に遡り歐米及び韓國よりの輸入數量を對比せん

期別	英	米	露	清
卅八年一期	—	六九〇	二一〇	一、七三四
卅八年二期	六三	三九	—	一、四六九
同三期	一〇三	—	—	二、一四三
同四期	—	—	—	七四七
卅九年一期	九六	一八六	—	七一六
同二期	一四	—	—	八四六
同三期	三	六四	—	八五八
同四期	二一三	一、一四〇	—	九九八
四十年一期	九三	三一三	—	一、一七三
同二期	六六	三九	—	一、六三五
	英	米	獨	佛
	露	諸威	其他	清
同三期	一、〇九二 / 二	一七七 / 二	[illegible] / 七	二四七 / 六〇九

前表に依りて觀れば英米國の輸入は本季に至りて遽かに增加し佛國獨逸諸威其他に至りても本季に入り始めて輸入を開きしか如く單に數字上より觀察するときは貿易上變化を來たしたるの感ありと雖も仔細に事情を調査するに從來英米其他泰西の貨物は上海香港其他淸國諸港を經由して當港に輸入さるゝものは總て支那よりするものゝ中に合算せしを當期より之を改めて其生產國別となし假令支那を經由するゝと否とに拘はらず之を其生產國別に分ちて計算することに當港稅關の統計方法を改定せし由なるを以て是迄統計上に顯はれさる國別を見るに至りたり、加之是れと同時に淸國輸入額は其數字を減ずるに至れり卅八九年の本期間は淸國輸入額は二百萬圓より約九十萬圓なりしに本期に入り六十萬圓に減少せしを見ても之を知ることを得べし、尙は獨逸、佛蘭西、諸威の諸船舶は其入港の隻數に於て又噸數に於て昨年同期も大差なきに拘はらず昨年同期は統計上獨逸、佛國、諸威等の輸入を見ざるは事實に於て全く輸入なかりしためにあらずして淸國を經由し來りしため之を淸國の輸入額に合算せしものたるに外ならざるなり

之を要するに本期の輸入は飲食料品に於て二千餘圓金屬類に於て二萬八千餘圓の減少を除きては各品種を通して增加せざるものなし其增加額は九十二万七千餘圓に上ほり輸入の進步と云ふの外なし

輸出貿易

本期間に於ける輸出貿易の總額は九十萬六千餘圓にして之を前年同期に比較すれば八十萬五千餘圓の增進にして其內容を舉ぐるときは左の如し

韓國產貨物輸出

品種品別	當期	前年同期
米穀類		
米	六二六、三三三	三一、三三三
米糠	六、三三六	四、六六一
大麥	五五	—
黑豆	八〇六	—
小豆	六、三二七	一、一四一
大豆	一五七、二三七	[illegible]
豆雜類	六、一六〇	四〇二
稷	四〇二	—
小麥	一四、六七〇	三、四二一
小麥糠	四〇	—
計	八一八、三二四	[illegible]
海產物		
煎海鼠	二三〇	四、九九五
干蛤	—	五四一
干牡蠣	—	二三〇
魚類	六八	九一
魚肚	四九	一、一〇八
海草	一、五三九	三八二
計	一、七六六	七、三三五
獸骨及皮毛類		
牛骨	二、六六六	八一六
羽毛	一七	二
乾牛皮	四九、七七七	二七、六六六
家畜皮	二、四六七	六六五
狸皮	—	三三五
獺皮	二、五一八	—
狐皮	七五	一二〇
虎豹皮	二〇〇	—
毛皮維類	二、六六六	八二〇
牛蹄及牛角	—	九七
獸脂	四、六七六	一、三六五
計	六五、六四三	[illegible]
食料品		
酒	四三八	—
食料品及野菜	五九六	一、二三三
馬鈴薯	四九	—
計	一、〇八三	一、二三三
雜類		
紅白人參	八二三	八、七三三
薪	四三六	四四四
炭	二五六	—
五倍子	一九〇	九四一
夏布	一九九	四〇〇
紙	五、九九七	[illegible]
材木	五〇	[illegible]
煙草	四	三三五
紙卷煙草	一七三	七八四
其他	一一、三二〇	一、〇八二
計	一九、四四七	九〇、七五〇
總計	九〇七、一六三	一〇〇、四一六

前記の對照に依るときは本期の輸出貿易は前年同期に比し八十萬五千餘圓の增進にして其內容は前表の如く要するに米穀類の輸出か前年同期に比して增加したるに基くものにして此米穀類の輸出が斯く增加せし所以のものは本年の收穫豐かなるによるものありと雖も本年七月京城騷擾事件に次て各地方の暴徒村閭を騷がし所在掠奪を逞するより米穀類の貯藏は却て暴徒の難を招くの恐れあるより早く之を放賣せんとするもの多く爲めに出穀の數例年に比して多きを致せしによるなり殊に本年は大豆の出廻より著しく增加し前年同期に比して約二倍以上に達せり韓國客主の語る所によれば此勢を以てせば來年四五月の交に至らば內地食料に窮乏し米價の騰貴すること火を見るより瞭なりと云へり獸畜及毛皮類等に於ても本期は前年同期に比し二倍以上の輸出を見たるも亦同樣の原因に基くものと察せらる

再輸出

本期間に於ける外國貨物の再輸出は七十八萬三千餘圓前年同期に比すれば九十二萬七千餘圓の增加なり其內容を舉ぐれば左如

	當期	前年同期
日本へ再輸出	四四七、八七五	三二、四二一
淸國へ	三三五、一七六	七五、六七〇
露國へ	—	一五、〇二九
計	七八三、〇五一	一二三、一二〇

本期間外國產貨物の輸入總額は四百五十万八千餘圓にして其中再輸出額七十八萬三千餘圓なるを以て輸入額一圓に對し奇零一七四に該り前年同期は輸入總額三百五十八萬一千餘圓其中再輸出額二十六万三千餘圓なるを以て輸入額一圓に對し奇零〇七三に該る而して淸國への再輸出額か非常の增加を來したるは露領に於ける輸出品は大連に仕向けらるゝか故なり

沿岸貿易

本期間の沿岸貿易額及前年同期の對照は左の如し

	當期	前年同期
輸出(韓國產貨物)	三一、三三五	一〇、五四二
再輸出(同)	六、一二四	一五、三八九
輸出(外國產貨物)	五五九、六〇九	四四六、五四七
輸入(韓國產貨物)	一三三、七五一	三三九、五二七
同(外國產貨物)	一四三、六五一	六八、三一八
合計	八八四、三七〇	八八〇、三二三

前表に依れば本期の沿岸貿易は前年同期に比して輸出入を通じて四萬五千九百餘圓の減少なり(各別略す)

文苑

佳羅丹之幾　玉井南軒

●歲暮言志

惜め共とまらぬ歲を惜みつゝをしき月日を仇に過ぐらん

●近縣旅行と言ひて家の內に寢て居るかた

かりそめの旅と言ひつゝ一歲を夢に迎へて立歸るらん

●年內早梅

心なくさしゝか梅の白にして春をも待たで匂ふかしこさ

●山家歲暮

世を捨てゝ身を奥山に住めど偶くれ行く歲のをしまるゝ哉

東京電報

▲陛下横須賀行幸

天皇陛下には本日遠洋航海の千歳、筑波の兩艦を御覽閲の爲め横須賀に成らせられ午後三時還幸遊ばさる

▲韓太子教養掛

樞密院顧問官末松謙澄氏は韓國皇太子御教養掛を仰付けらる（以上廿七日發）

雜報

韓皇行幸御道筋

來る一月一日皇帝皇后には御同列にて德壽宮に太皇帝を御訪問遊ばさるゝ由は既報の如くなるが今其の御道筋及時刻を記さんに午後二時三十分敦化門御出御、[illegible]橋、黄土峴、新橋、布德門、鍾路を經大漢門より德壽宮に入御、三時三十分[illegible]殿に於て御對顔、同五時還御

●仁川の賀式　四十一年一月一日午前十時三十分理事廳に於て一般官民の賀式を擧行し終りて十一時より小學校にて同拜賀式を擧行する筈なり

豫備金支出裁可

度支部よりの請議に依り內閣會議の決議を經て裁可を得たる豫備金支出額は左の如し

金五萬三千八百五十三圓十三錢　度支部雜給及雜費
金三千七百八十三圓九十九錢五厘　貨幣整理借越金利子
[illegible]

●各官廳新築　度支部にては來年度に於ては漢城內外に於ける各官廳を新築する筈にて目下調査中なり

●憲兵警察官に賜金　德壽宮[illegible]の憲兵及警察官に對し太皇より警視へ[illegible]として下賜されたりと

●五署警視の總辭職　漢城五署內の韓國人警視は何れも總辭職をなしたりと之れが原因に就ては知る能はざれど邦人警視に對し快からざる爲めなりと云ふものあり而して之れが後任には本邦人を任用すべしとの說あり

奉天新市街計畫

南滿洲鐵道會社が費用を惜まず[illegible]爲すべきは奉天及[illegible]會社の方針の粗[illegible]を聞くに新市街經[illegible]百萬圓にして四ヶ[illegible]すべく其工事中の主なるものは道路、停車場、倉庫、事務所、ホテル、病院、並に附屬[illegible]校、小學校、市場、公園等にして先づ現在の停車場は之を約九丁許りの南方即ち[illegible]三纜の地點に移し新たに停車場を築造し此處を起點として[illegible]新道を開き一方鐵道線路に沿ひて現在の驛前に至り改修道路に接續する道路を築き此兩者は一等道路と[illegible]縱橫に支道を作り其等[illegible]しむべく其他樹木[illegible]級は二等十二間三等十間四等八間五等六間とし道路の交叉點其他必要の箇所に五ヶ所の廣場を設くる等にて又四周の道路に依りて區劃せらるゝ一區域は長さ二町幅一町とし此中に更に幾條の路次を通ずることゝなるべし其市街地の廣さは約六十五萬坪にして附屬地域面積二百四万九千百六十七坪の中約三分の一を占め[illegible]七十万坪を一般畑地[illegible]を占め爾後は陸軍用[illegible]貸地料は宅地は特等地[illegible]一等地八錢二等地六錢三等地[illegible]等地一錢に決定せら[illegible]業務の種類により會[illegible]の制限に從ひて建築[illegible]箇所を百坪にても二[illegible]地の方は地味の差異[illegible]錢との範圍を以て自[illegible]人には何人にても貸[illegible]なれば將來此新市街[illegible]して最も有望ならん

振威附近及發安場方面の賊

振威より[illegible]方に當る杜倉、保先、長安浦、[illegible]等の部落に二三十名の匪徒常に出沒[illegible]か又發安場方面の賊[illegible]大隊の指揮せる中原[illegible]木洞並に長安の東方[illegible]に出會し之を擊退せ[illegible]亡七、捕虜一外に小[illegible]せり

西井里附近の暴徒

[illegible]の暴徒討伐の爲め同[illegible]去る廿三日歸還せる[illegible]察しつゝ行進せしに各所に賊の被害を認むるも目的地に達する迄途に賊に出會せず空しく歸隊せりと

强盜犯逮捕表

本月一日より同廿七日に至る迄京城警察各署に於ける强盜犯逮捕表は左の如し

署名	被害件數	逮捕人員	同件數
本町警察署	○	三	一
警務中署	一	五	二
警務南署	二	一	一
警務西署	二	四	一
警務東署	一九	一	一
警務北署	三	○	○
訊問課	○	一一	五
計	二七	二五	一一

備考　被害件數なくして逮捕人員あるは他管の者を檢擧せしに依る

京城歳末の金融

（京城日本人商業會議所調）

京城に於ける歳末の金融狀況を調査するに[illegible]に此間自ら二樣の現象を示せり即ち其一は銀行に取引を有する所謂中以上の商民社會にして他の一は銀行を利用するを能はざる所謂中流以下の商民社會なり今二者の歳末金融狀況に付き左に其概要を記述せん

（一）銀行及び取引者に關する金融狀況

當地に於ける日本側各銀行は內地に其本店を置くも在韓國各地支店に對しては其實本店たるの地位にあり其關係たる從來は只だ間接の影響に過ぎざりしが近來其趣を異にし兩者間密接の關係を有するに至り從て各支店所在地金融の如何は以て當地の所在銀行に其影響を及ぼし來り就中近時銀貨暴落の結果支那貿易の不振及び彼の米國紐育大恐慌の波動より直接間接の影響を受けたる各地金融不況は勢ひ當地の經濟界に多少打擊を與へたり而して又當地の發展に伴ひ各銀行より建築請負業者等に向て放資したる金額の如き多大なるも例年本月を以て回收の期と爲し殊に建築受負業者は一般に昨年に比し比較的成功したるに不拘諸官衙等下付金の遲延するを屆し居くため[illegible]の困難は勿論延て銀行取引の上に及ぼしたる影響決して尠からず翻て各銀行及び我居留民對韓人取引に關する金融狀況を見るに各地暴徒の爲め地方との間に日韓商人の往復する稀少にして自然韓人向商品の取引少く從て賣掛代金の收集意の如くならず加ふるに當地在住の韓人中第一位を占むる遠の商班なるものは何れも地方に土地或は家屋を所有せざるものなく毎年十月以後地方農民より貢米を收集し以て金融の助成を爲し來りたるも本年は暴徒蜂起の爲め貢米等未だ收集せざるもの多く其結果は韓人間中流以上經濟界の恐慌を見るに至り各自困難を感じつゝあるは想像以上にして此情勢が當地居留民中流以上の金融界に波及したると大なり更に目を轉じて支那商人側を窺ふに政治上の勢力關係よりして自然商權に於ても我商人の爲めに蠶食せられ年々賣上の減退と共に銀行取引の如きも減じつゝあるを見るなり以上の如く各方面の影響を受けたる京城の金融界は各銀行とも多少の警戒緊縮を豫想したりしが六七月以來暴徒の猛勢を見越し一般商人に於ても其不景氣を見越し大なる仕入を控へたるの結果我居留地商業界晩近の膨脹發展なるに比し資金の固定するもの少く却て反比例の現象を呈し其放資は弗々回收されつゝあるの有樣なるより此趨勢を以てすれば歳末に於ける此方面の金融は例年歳末に於ける一般取引の繁忙は免れざるも大なる逼迫を告ぐるに至らずして圓滿の間に越年するを得るならん乎

（二）銀行に關係なき一般金融狀況

銀行に關係なき一般市中商民の金融狀況を調査するに本年五六月以降幾多の影響を受けたる京城經濟界は一時借り倒し主義の奸商續出し破產閉店等を生じ一大恐慌を見んとするに至りしが各自注意警戒の結果大なる撹亂を見ずして止みたり其後不振の爲め商品賣行減退の結果各商店とも只た不足品の仕入を爲すに止り大なる取引を爲さゞる爲め從來の如く資本の固定を見ず亦一面銀行以外新に金融的事業を營むものゝ增加したる爲め此等逼迫せる金融をして緩和せしめたるや大なり勿論遊資の商店小賣人の如き商勢の不振よりして年末融通上其逼迫を告げ困難しつゝあるは明なるも全體を通じて觀察する時は豫想したるが如き急迫を見ずして越年なるを得るならん乎今各銀行に就き調査したる要項を揭ぐれば即ち左の如し

第一銀行

本年歳末の金融は稍や多忙を見るも大なる逼迫を告げず[illegible]及貸出に付ては新に資金の需用迫らず[illegible]左の如き現象を呈せり

十一月末日現在貸金	五、〇七七、一八〇
十二月廿三日現在貸金	四、七五二、七一九
差引減	三二四、四六一
十一月末日現在預金	二、三五九、五七六
十二月廿三日現在預金	二、五二一、七二四
差引增	一六二、一四八

本年內國の金融逼迫と支那貿易の不振は時多少の警戒を豫想したりしも大なる影響を見ずして終れり亦目下韓國に於ける中央銀行の地位にあるを以て各銀行會社等に立換へたる資金合計約六十萬圓內外に達するも是等は兎角金融界をして幾分緩和せしめたるなるならん普通貸出に對する利率の如きも三錢乃至三錢六七厘にして著しき變動を見ず概して金融逼迫と云ふ迄に至らず稍や多忙の狀態にあり

五十八銀行

歳末の金融に付ては別に特記すべき事なし諸建築工事も受負者其他弘く一般に貸出し居るも取引先比較的確實にして相應に回收しつゝあり就中受負業者等にありては諸官衙下附金の延遲甚しき爲め大に困難しつゝあり又た每月各地支店に向て二十萬以上の融通を爲し居るも本月に入りて別に變動を見ず而して平素預金に於て七十九万圓內外貸出に於て百四十一萬圓內外を有するも本月に在り預金に於て六萬圓を減じ貸出に於て三萬圓內外を增加したるのみ幾分多繁なるは免れざるも稍や圓滿に越年するならん

十八銀行

歳末金融に付ては豫想したる如き逼迫を告げず概して活氣を含み多少の繁忙を免れず本月に入り地方各支店に約四百萬圓內外を融通し當地に於て約十萬圓內外の貸出を增加するを見るに至れり是れ例年地方米穀買出の爲め要する資金にして別に怪むに足らず殊に本年は暴徒の爲め米穀出廻り少きを豫想し此間に奇利を得んとして競爭的買出しに出掛るもの非常に多く爲めに比較的米穀の出廻り多きと資本の必要を感せし所以なり而して商人側預金に於て約二割を減じたるも其他は更に減退を見ず又一年を通じて取引先は日本人五分韓人四分支那人一分の割合にして預金の如き日韓人は寧ろ增加の傾向なるも支那人は年々減退しつゝあり是れ我國政治上の壓迫に依り邦人の爲めに漸次商權を侵略せらるゝに依るならん乎利率の如き別に變動を見ず稍や圓滿の間に越年するならん

韓人側各銀行

歳末金融に就ては日本人に關係を有する一銀行の如きは稍や多忙を極むる狀態なるも日本人に關係少き農工、韓一、漢城等の各銀行に在りては新曆年末に於ては余り多忙を感せざるもの如し然れども今や韓人側非常の金融逼迫に付何れ舊年末に至らば多少の繁忙を見るならんと今より豫想し居るが如し

運送業改善と會議所

本紙豫報の如く鐵道管理局に於ては今回京仁間運送業の改善を圖るが爲め岡局商務長は京城商業會議所を訪問し小原矢野兩事務官は部長代理として仁川會議所を訪問したる所なるが仁川會議所に於ては鐵道局の交涉頻來を詳記し一々當業者及議員に通牒し意見を徵する所ありたり

●高等女學校敷地確定　高等女學校建設敷地として過般民團役所より其筋に申請したる南大門通り元保稅倉庫の跡地三千二百四十五坪は昨日許可されたれば來春より工事に着手すべき筈なりといふ

●警察會計事務引渡　警察事務は先きに統監府より韓國政府に屬せしめたるも便宜上會計事務を統監府兒玉書記官の手にて取扱ひつゝありしも今回新官制の施行と共に全部韓國政府に引渡す筈なりと

●仁川名刺交換會　既報の如く一月一日正午十二時より仁川俱樂部に於て名刺交換會を行ふ

●宮中參內者　昨日の入闕者は德壽宮は義親王妃、林宮官、承寧府侍從、李承[illegible]府侍從、李侍從院侍從等を重もなるものとして計七十名ありしが內男三十八名女三十二名あり又昌德宮は義親王、閔宮內府大臣署理、李侍從院侍從等を外に計四十二名なりしが內男三十七名女五名なり

●三浦理事官東上　京城理事官三浦彌五郎氏は昨朝南大門發にて東上せられたり同氏不在中は高瀨副理事官を以て代理とすとのことなり

●一銀支配人交迭披露　第一銀行仁川支店長野口彌三氏は今回本店營業部副支配人に榮轉し其後任には京城支店長太田三郎氏來任されたるにつき野口氏は太田氏の紹介を兼ねて本日午後五時より仁川俱樂部に仁川官民の重なるもの及在仁各新聞記者を招待する由

●本社の忘年會　烏兎匆々本年も將さに終らんとするにつきて本社は昨日々沒より社中同人相會し盛んなる忘年會を催し放歌亂舞有繫の豪傑の御集場だすワと給仕の赤襟に否を卷かして武骨に淡泊な宴を果たり

●仁川會議所の年末賞與　仁川商業會議所に於ては山本書記長代理の二十圓を初めとして俸給一ヶ月分の約三分一以下の年末賞與を受けたり

歳末商況

（京城日本人商業會議所調査）

本年末に於ける京城の商況は昨卅九年末に比すれば概して不振なり其原因たるや內地金融の逼迫と上海に於ける銀爲替相場の暴落及び地方暴徒蜂起の爲め本年七月以降日韓商人の間に大口なる取引等殆んど皆無の姿にて韓人向雜貨店は勿論其他紡績糸、燐寸、明太魚、陶磁器、金銀細工時計類等の如き昨年に比し約四割內外の賣行を減少し殊に本年七月韓國軍隊の解散は此等商店に對する華客の一部を失ひ多大の影響を受けたるが如し之に反し食料品、雜貨商、下駄商、諸建築材料品販賣店、料理屋、宿屋、西洋洗濯、裁縫業、理髮業等にあつては昨年よりも約一割以上の好況を呈しつゝあり然れども一般よりすれば市況不振にして何れも不景氣の聲を洩らしつゝあり今各商店に付取調たる年末商況を左に略記せん

▲和、洋金巾　和、洋金巾とも時期に向ひ居るを以て相當の賣行あり近來上海銀爲替暴落のため相場も從て底落の氣味にて賣行は昨年に比し本年は二割以上の好況を豫想せしも地方暴徒の爲め韓人の入京者少なく多少影響を及ぼしたるも輸入數は昨年より二割方增加し目下可なりの好況を呈しつゝあり尙は舊年末を迎へなば一般賣行の增加を見るならん目下の取引相場は左の如し

洋金巾エキス和泰東入	一反に付	七圓三十三錢
同泰和東入	同	六圓三十三錢
三ビー鋼甕印	同	六圓三十五錢
和の巾三印	梱に付	百廿三圓廿錢
和金巾三印	梱に付	百三十九圓

▲紡績糸　紡績糸は本年地方暴徒蜂起の爲め交通及金融の便利を欠き一般商品賣行に甚敷妨害を受くるに至れり殊に日本に於ける綿糸の暴落は神經質に傾ける當地方の商情を刺戟し著敷直下げを來し且つ在荷過滯を示すに至れり殊に本年十月に入り銀塊の暴落は又上海經由輸入品の價額を安價ならしめ清商は盛に上海綿布を輸入するに至れり相場も爲めに十一月以來下落の狀態にあり

續紡糸　十六手（廿五入）	一梱に付	六十六圓〇八錢
同　十六手（廿五入）	同	六十四圓八十五錢

▲砂糖　砂糖は本年は果物の豐作にして八月下旬頃より續々市場に顯れ爲めに菓子類の製造稍や手控となり其結果は自然本品に大影響を及ぼし一時沈靜の狀態にありしも本年下旬頃より多少の活氣を呈し來り加ふるに年末に際し贈答用として多少の賣行あり然れども昨年末に比すれば其輸入額に於ては一割以上の增加を來し居れり現今の取引相場は左の如し尙ほ明年早々地方各軍隊に需用さるゝならん

四温イスヒー印	一擔に付	九圓二十錢
同　イスアル印	同	八圓九十錢
同　エスエキス印	同	八圓四十錢

▲麥粉　麥粉は昨年に比し賣行宜敷隨て輸入額大に增加せり然れども本年は旗印品の外日本印の輸入ありて兩品共好況を呈し値段に於ては何れも大差なく目下取引相場旗印一袋に付き二圓五十錢日本印一袋に付二圓四十五錢內外にして十一月下旬よりは賣行良好にして昨年末よりは多忙を極めつゝあり

▲石油　松印石油は價格の高價なるに不拘品質良好なるが爲め賣行最も宜敷又勝利印石油は直段の點に於ては鑵印に比すれば箱に付廿五錢內外の高價なるも是又品質善良なる爲め賣行相應にあり鑵印は昨年來品質改良を加へ價格廉なるも日韓人共需用捗々しからず何となれば鑵票は凍寒の候には充分光明を放たざる等世人の風評を傳へ爲めに韓人側に於ても松印或は勝利票を專ら需用せす昨年末に比すれば何れも賣行增加を來せり今卅九年との比較を擧れば左の如し

	卅九年	四十年
松票	三五、六一〇函	四六、五四七
勝利票	二一、六九〇	二九、四二三
同鑵票	一三、七〇〇	一三、九一四

而して目下相場は鑵票函に付三圓松票は箱に付三圓五十四錢勝利票は箱に付三圓廿四錢位なり

▲酒類　每忠邦人の增加と共に賣行宜敷就中白鶴、澤龜、櫻正宗、菊正宗、櫻魂、東洋一等最も氣受宜敷且つ本年十月より何れも樽に付一圓以上の騰貴を來したるにも不拘一般活氣を呈し好況の有樣なり麥酒其他洋酒類に至りては年末の進物用として可なり賣行あり概して昨年に比し好況なるが如し目下に於ける二三の相場を記せば如左

櫻正宗	三斗九升入　一樽に付	十九圓五十錢
菊正宗	同	十九圓五十錢
澤龜	四斗五升入　同	十八圓
白鶴	同	十九圓
麥酒	各一箱四打入	九圓六十五錢

▲穀類　本年韓國に於ける米作は可なりの豐作なりしが地方暴徒の起りし爲め毎年十一月は出廻り時期なるに本年は出廻り悲しからず爲め〆相場は依然引下らず然るに本年は母國への輸出額を減し北韓及滿洲方面への輸出非常に增加し加ふるに當地邦人の需用增加し市場大に活氣を呈し昨年に比し約一割以上の高價なるに不拘約四割方賣行を增加し頗る好況なり亦白米の如きは日本人側精米所にて韓人側に向ての販賣高昨年よりも約三倍以上の多額に達したりと云ふ故に舊年末を迎へなば市場益々盛況を呈するならん大小豆の如きも十一月以來地方の農作ならざるに反し市場出廻り意外に多く爲め〆時々格外の相場を現出しつゝあり目下の取引相場は左の如し

日本人向白米	壹石に付	拾七圓
韓人向	同	拾四圓卅錢
玄米	同	拾九圓內外
韓國糯米		貳拾壹圓內外
日本糯米		[illegible]
大豆(同)	一石	七圓內外
小豆(同)		八圓七八拾錢內外
大麥(同)	同	三圓八拾錢內外
小麥(同)		[illegible]圓內外

▲治外法權▼

綠泉亭の水を飲んだ人の腑は必ず腐つて志が變はると或韓人から余輩の聞いた珍談である、併し韓人の話に盡然信を措く譯にも行かぬによつて其眞僞を或同胞の韓國通に質した、ところが其韓國通は立に右の珍談に裏書をした、仍て余輩は其裏書を信用して御披露するのである、玆に一寸斷つて置くが綠泉亭と云ふのは今の統監邸の所にあつた韓皇室の別莊の事で水は乃ち現任統監邸で日常使つて居る水の事である▲伊藤公は昨年以來朝夕此水を飲んだのである、而して公の腑は之が爲に腐り志は變はつたのである、論より證據公は公が赴任の途次伊勢の神前に祈誓したことや三十八年六月十一日京都無隣庵に於て議決した事やはみんな忘れて仕舞たのである▲彼は風の吹廻しで陞爵したのであるが韓皇に臣禮をとつて準皇族となり、從一品となり輔國大臣となり太子太師となり伊藤一己としては虛榮的大發展をしたのである併し之が爲に半島に於ける帝國の國權は失墜し居留民の發展は大に妨害をされたのである▲伊勢の神前に立つた公は今の樣な弱くはなかつたのである、無隣庵會議に於ては公は〇國〇〇を主張されたのである、併しそこは恐ろしき事には綠泉亭の水を飲むに從ひ素志はドコへか飛んで仕舞つたのである、斯く著るしく驗が見ゆては韓人の話と雖も滿更馬鹿には出來ぬのである▲余輩は對韓問題の根本的解決が一日も早く出來んことを望み同時に居留民の大發展が早く行はれんことを望んで居るのである、今の變態が伊藤公綠水中毒の結果と知れた以上は是非共公に毒解一服を進じて素志に立戾らせねばならぬのである。

●年末休刊

本紙は本號を以て本年の終刊とす

●宮內官吏の昇叙　[illegible]
[illegible]一ヶ月分以上の年末賞與を受けたり
[illegible]材料として[illegible]數個に積[illegible]南關に在る[illegible]二階[illegible]なるより密かに[illegible]の七名は近時身分不[illegible]より取押の上嚴重に糾問せしに何れも匪徒[illegible]せしを以て近々相當處分の筈なりと

●日曜講壇　日の出町小學校前京城基督教會にては二十九日午前九時半より聖歌の[illegible]の編者一と題する說教ある筈

●[illegible]　去る十一月二十三四の三日間京城俱樂部に於て開催せる京城樂友會第三回音樂會[illegible]圓四錢の剩餘金を得たるに付同會開會の趣旨に基き[illegible]の一部として今般京城居留民團に寄附したる由

●仁川[illegible]……及七朝[illegible]は一昨日民長以下官吏等[illegible]……相談の浪費を爲す傾なるより密かに探知せしに果して同境内[illegible]に在る[illegible]二棟建二棟を毀ち家屋建築材料として數何に濟韓人に賣却しつゝありし事實を發見せしにせしを以て近々相當訴追の筈なりと

……一ヶ月分以上の年末賞與を受けたり

●宮内官吏の竊盜　宮內府附屬園丘[illegible]守僕[illegible]、金寶壽、崔敬逵、金顯均、金問貞、

●日曜講演　[illegible]日の出町小學校前京城基督教會にては二十九日午前九時半より說教の研究をなし同十時半より網島牧師の「忘却」

●樂友會第三回音樂會收支決算　去る十一月二十三日[illegible]京城歌舞伎座に於て開演せる京城樂友會第三回音樂會收支決算は本日の廣告欄に掲載の通金九十九[illegible]旨に基き奏樂堂建設費の一部として今般京城居留民團に寄附したる由

社告

前記の心得あるもの一名(二十歳以上三十歳迄)至急入用希望の者は本社へ來談あれ

十二月　日　京城新報社

特別廣告

緊急廣告

赤門より西小門迄の間に於て(要書類入)ポッケット入茶色折鞄一個遺失致候に付御心當りの御方は下名へ御通知被下候はば相當御禮可致候

京城永樂町二丁目　岡田組　金田春吉

歳暮景品付大賣出

景品總高五百圓　一圓毎景品券一枚(即時開札)　十二月卅一日迄

京城本町郵便局前　和洋雜貨 文房具 御小賣　シノサキ商店(電六四八)

●泥峴の素通り　本年も餘す所茲に三日にして年は暮れ新らしき年を迎へんとす昨日出社の道すがら泥峴を通行し目に映じたるを一寸記すれば門松は例年の通り消防組の肝煎にて軒並に建てられ店々には七五三飾りさへ引き廻はして愈よ新年の近きしを示し八百屋には裏白や楪葉が山の如く積まれ餅搗きの杵の音勇しく聞へ道往く人の小走り姿危うげに忙はしさうなるも面白く呉服店や雜貨店には景品付賣出しや割引のビラが客を引き居り慾深き人の百圓の景品を引當てんと寄り群りアレかコレかと品物を撰り分る指の爪さへも延びて釣の如きも可笑しく小役人見た樣な者御用商らしきもの賄賂ならぬ歳暮を擔軍又は小僧に持たせ右往左往に行き通ふ中を人力車に打乗り意氣揚々たる金筋の將公が年末賞與に腹を膨らしたる陰にてさも暖かさうな面付きで馳け行くもある何れ御用納の御歸りと見へる擔軍は自が國の亡びつゝあるも我知らず焉と空打仰ぎ道傍に立ちて客を待つ樣も哀れに見へ何處の奥樣かは知らねども紫幅紗の包み物を下女に持たせ吾妻コートに身を包み東に向て行かるゝを見たるが何れ長官殿夫人の御機嫌伺ひならん先づ泥峴の素通りに過ぎざれど兎に角不景氣なれど節季は節季らしく見受けられたり

●官吏の年の暮　無いやうであるのが借金有るやうで無いのが金とは能くいつたもので是れが適切な標本は役人に於て示されてある韓國の役人といへば內地で二十圓の價値の者が月俸やら借屋料やらで七八十圓も收入があつて虎列剌の豫防に從事したといへば慰勞金もある特にこの年末には賞與金もあるといふので細君は是れを引當にて春着の用意をなし屠蘇肴も料理屋へ註文して此の暮こそは安氣安樂に通り越さんと樂んで居りしは束の間にて昨今に至り門前には債鬼立替り入替り押し寄せ來り始めのほどは十圓の處は五圓五圓の處は二圓五十錢と半額位拂ふて殘りは來春に廻はしてと呉れと賴んで追ひ返せしが遂には其の半額も拂ひがつかず主人は近縣旅行といふ明治式の血路を開いて奥の間に閉ぢ籠り自棄酒をあほりで何かにつけて吐鳴り散らし細君の春着は爲替つきにて郵便局まで來て居れどこれを受取ること能はず年始の重詰肴は現金でなければ置かれぬといふて持つて歸る酒屋は一應は勘定を濟まして貰ひたいと居催促をする歳暮の使ひ物は細君の考にては買ひ物を斷送りにする積りであつたが呉れる者は少く贈り先は多く今は其の調達にも困難を訴へるさいふ有樣にこんな筈ではないがと算盤を彈いて見れば賞與金だけは殘つて居る勘定旦那に聞くと友人の交際費やら忘年會費やらに遣ひ盡くしたとて今更のやうに靑息を吐いて居る夫では何もかもれ止めとした所が炭と薪だけは買つて置かねど人間の氷りが出來るといへばれ前の着物なりと一六銀行へ預けて買つたら宜からうとの返事に呆氣に取られて此の苦みを見るはさぞなら韓國三界まで來るのではなかつたさ悔んだ所が追つかず儘の皮よと韓人の小僧に玄關番を命じて巨燵にもぐり込んで掛乞が玄關で小僧と不得要領な問答をするを聞いて年を送れるもの此の京城だけにても百や二百はあるべしと三面子が推測事實果して如何にや

●惡徒取押へらる　大和町一丁目田中竹松方に同居する村田定吉(三十)はかねて其筋注意者なりしが昨廿八日午前二時頃旭町一丁目の小料理屋にて酌婦を相手に徹夜の牛飲をなし居る所を本町署の手に取り押へられたるが其時定吉の懷中にはピストル一挺と其他怪しき雜品類點を入れ居りしと

●怪物を打ち殺して拘留　大和町に住する鐵道管理局技師花野彦三郎方の下女は夜中小便に起きして何やら怪きものが邸きの內に入り遣みたるを認め其夜來合はせ居たる同局の雇田邊德四郎、尾崎吉三郎、中村庄吉に告げたるに三人の者はスワ怪物ゴザンなれと面々手頃の獲物を携へて邸內を探し廻り便所の邊に居たる怪物を見るや怪物覺悟せよと三人打つてかゝり遂に怪物を打ち殺したるが殺して見ればこれなん近所に住める東町五丁目村田定吉といふ人の飼ふ豚なりしよりその處分に困りたるまゝ官舍上手の山に引き揚げて知らぬ面の半兵衞をきめ居たるに去る頃豚の世話をする雇人中野榮吉が我子でも失くした樣に悲みて探し廻る內漸く其死骸を發見して其旨を主人に告げたるに林田定吉はそれぞ花野方に出入する管理局の雇人が戯れて毆ち殺したるもののならんとて花野方に談判に及びスッタモンダの末遂に其筋へ豚の毆殺訴訟を提起したり

●嫉妬を受けて辭職　食を繋ぐパンの料を得んが爲めに勤むる職を打ち棄つるまでの決心を爲さしむるとは深き仔細ぞあらんと探つて居れば聞くも忌々しき嫉妬沙汰夫れが濡衣と來て居るから可愛相な話で其の事實の概略をいへば第○銀行の紙幣整理所に何某といへる夫婦者ありこゝにまた先つ頃より阿何となん呼べる妙齡の佳人同じ所に雇はれて勤めこれが頗るの愛嬌ものにて仲間の人々にも阿何さん／＼で時間のたつを知らず辛抱するといふ有樣にて何某も時には戯れもいひつゝあるをこれを聞く細君は氣を廻し必定密かに慇懃を通じ居れるならんと思ひて嫉妬の念は日々に高まり己れが監督といふ權利を笠に阿何が爲すことには何事にも難癖をつけて犬猿的の復讐をなすより阿何は幾たびか其の無實を訴へて憐みを請へど疑ひは更らに解けやらぬのみか辯解すればするだけ深く疑はれて濡衣を乾す手段にも盡き果て其日々々の呵責に堪ねず遂に怨みの涙に咽びて一昨日辭職せしより同僚の者どもは愛を慰むる途を失ひたりとて失望し居れるとかや嫉妬も愼まざれば禍の其の身に及ぶことあり何某の妻たるもの宜しく心得べきなり

●當世不破と名古屋　或る所に勤めらるゝれ頭あり一たび物に觸るゝや雷の如し人稱して雷太郎と云ふとかや此れ頭元來の色好みにて女を見れば日向に向ひし猫の如く眼を細ふして手を取らるゝより大抵の女はアレーと頓狂聲を擧げて逃げ出すと云ふ始末なるもれ頭仲々以て辟易する樣子なく花月や濟華亭にて浮名を流されたることありし斯くては手元に大なる影響を及ぼすのみならず北の方の御氣嫌を損ずるのみなれば一層のこと安く出來た新町に御輿を替ることそ萬全の策ならめと樣々に首を捻りたる揚句或る宴會の流れより車を命じ新町の大籬とも稱せらるゝ京城樓に登られたり如才仲居は之を見て兼てよりれ名前は雷の如く承りしれ頭樣なれば手を取りて引上げん計りにチヤホヤと愛嬌のありつ丈を振り廻はし手車に乘せて二階の一番座敷へと勸請したり斯くて持ち出す酒肴より早くも寫眞をとの御注文にハツと一つ返事に御前に並べられたる寫眞の中よりアレか此れかと繰り返へされたる中にれ眼に留りしは最もハイカラなる時子にて夫よりサンザ愉快をなし何氣なき體にて御館に歸られたが北の方の御嫉みは一方ならずされど時子のことは思ひ止りも得ず相變らず宴會の流れには時子の許に御訪づれありしに茲に法廷に於て滔々懸河の辯を揮ひ辯舌に於ては負を取らぬ勝本師と云ふ紳士の者ありこれも蕩妓に關係しては金を食ふからとの損得づくに思ひ立たれしは新町の一夜妻こそ經濟ならめと京城樓に足を運び例の時子を揚げたるが勝本師も時子の掌の中に丸められて通はれしが時子は二人の色男を見比べ一人はれ頭一人は勝本師位は同じふ方姿は勝本師さんの方が好い此人を妾いの情夫にせうと心の中に極めし矢先きにれ頭樣には北の方がわつて仲々にれ嫉み心が深いからアノお方に心中を盡すこと生靈となりて取殺されると電話にて水を注せし者ありしが時子は身の毛を竦て縮み上りれ頭が來られても嬉しき顏もせざるにれ頭は斯る付き物があるとは知らず今に時々通はるゝとのことなるが何時かは不破名古屋ならぬ鞘當があるだろうと雀の囀り專らなり

●新年當込みの美形八種　京城新町二丁目大姉屋より文字と名稱り現はれたる白首は富山縣下新川郡石田村字濱石濱松榮次郎の妹ブン(三十)▲同京城樓民子と名乘るは橫濱市淺田町西野リン(三十)▲同南山樓より小鈴と名飛るは神奈川縣都筑郡新田村新田生れ小山シマ(十九)▲同樓初音は千葉縣千葉町寒川村石渡キヨ(二十)▲同樓常盤は神奈川縣高里郡海老名村飯島ナツ(二十)▲同樓ゝ駒は橫濱富士見町石川チヨ(十九)▲同樓朝妻は橫濱市北方町淺見サク(二十)▲同樓壽喋は橫濱市中村町中西シゲ(二十)以上八人は何れも昨日其筋より營業鑑札を下附されたり

●娼妓の捕縛　新町井門支店玉枝事本籍神戸市平民廣瀨とき(二十)は曩きに竊盜をなし其儘何れへか逃奔し居りしが去る二十七日龍山に居住せる大島銀藏方に情夫某と樂しさうに意茶付き居る所を其筋の探知する所となり御用の聲と共に捕縛され本署に引致されたり

廣告

一廣告料受領證　壹册

右本日遺失仕候につき爾後廣告料金は當支局の名刺持參者に限り御支拂ひ下され度此段廣告候也

十二月二十七日

朝鮮タイムス　京城支局

金州濟幼年にて惡徒の爲め誘拐され十日前外出の儘歸家せず此頃聞く處によれば印章を僞造し負債をなさんとするやの風說あれば內外人此奸手段に欺むかれざる樣謹告す

中署貞洞二十五統一戶　金斗晏

內地へ旅行中に付年末年始の禮を欠ぐ

煉化建築請負業　京城南山町一丁目　澤田虎吉(電話八三六番)

高野幹之助

右の者今般解雇致し候付ては自今當商會に一切關係無之候

旭町二丁目　富士商會(電話九四四番)

京城樂友會第三回音樂會收支決算報告

收入の部		
總收入		五〇六、五〇〇
內譯	入場券賣上高	四六二、〇〇〇
	寄附金	四四、五〇〇
支出の部		
總支出		四〇七、四六〇
內譯	歌舞伎座使用料	九六、三〇〇
	特軍軍樂隊支拂及接待費	六六、四五〇
	和洋紙類及印刷代等	三二、七〇〇
	通信費	[illegible]
	劇及舞踏用材料及雜費	五〇、一七〇
	演奏者接待費	三九、〇七〇
	辨當代	七五、六〇〇
	道具方等傭人料	三九、九四〇
差引	殘高	九九、〇四〇

右殘高は音樂堂建設費の一部として京城居留民團に寄附致し候

明治四十年十二月　京城樂友會

米韓電氣會社　電車(線區域・賃金)改正

新年一月一日以後は從來の切符を全廢可致候に付乘車賃は現金にて一區金五錢宛受持車掌へ御拂渡被下度候

龍山線	鐘路より京仁鐵道交叉點迄	一區
	京仁鐵道交叉點より龍山迄	一區
幹線	東大門より西大門迄	一區
麻浦線	西大門より孔德里迄	一區
	孔德里より麻浦迄	一區
東門外線	東大門より淸凉里迄	一區

一區ニ付金五錢

既に御買求の切符は新年一月三十一日迄の內鐘路本社に於て何時にても買戻可致候若し一月一日以後御乘車賃として御使用の場合は前記一區ニ付貳枚宛申受候事

▲貨物本船積卸
▲龍山行運送 其他近海
▲右の外艀に關する一般の事務

仁川港仲町一丁目　福島組(電話五三五番)
同　波戸場出張所(電話五四二番)

懇切と熱心を以て訴訟其他諸般の代書依賴に應ず

明治法律學校出身　增本好三郎事務所　京城本町二丁目一番地

大好評ゑはがき福袋　一袋金拾錢

弊店發賣の大景品入福袋は各位樣の御好評を蒙り殘りも僅かに相成ましたが上等景品の勸業債券廿圓貯蓄債券五圓此外靴切手や書籍券や澤山の福が殘つて居ります其上に御愛嬌として追加景品壹千五百個差加へましたから一日も早く來て此福を御當て下さい

福は誰の懷へ

◎景品のあらまし左の通り

●勸業債券(二十圓券)壹枚●富田本支店製クツ切手(五圓券)三枚●上繪葉書帳(東京博覽會出品)五百枚挾一冊●校刻日本外史(凸版縮刷)五十冊●四十一年度用懷中日記百冊●貯蓄債券(五圓券)二枚●書籍切手(五圓券)三枚●靴下(壹打宛)五個●四十一年度當用日記大形小形五十冊●舶來上等石鹸五十箱

景品券總計千五百個

追加之分　上等編上靴五足　同ゴム靴五足　書籍券(壹圓券)五枚

此外壹千五百個

京城本町六丁目　勉強堂葉書部

營業科目　活版活字鑄造　石版銅版　コロタイプ　彫刻諸印刷　諸帳簿　製本裝釘

本社　京城西署西小門內(電話三一三番)
仁川出張所　仁川港海岸埋築地(電話仁川一五五番)
東京出張所　東京市京橋區南鍋町一丁目十番地(電話新橋三九六二番)

日韓圖書印刷株式會社

日韓病院

一般患者之依賴に應す

京城新王城大漢門前

院長　橋本三男
醫員　吉田定見
同韓國軍醫　蔡永錫
藥劑師　濱口源太郎
會計　井口平治
隔日出張　龍山青木病院長　青木淸六
入院隨意

新築落成

龍山元町壹丁目

會席御料理 八景園

電話四六番

福引券進呈

太 歲暮大賣出し

○一等景品 金 露 五 樽
○二等景品 トランクカバン 一個 四十圓
○三等景品 三越呉服券 二 十 圓
○四等景品 ライトシヤツ 三 組
○五等景品 キツト皮靴 一 足
○六等景品 婦人用絹張洋傘 一 本
○七等景品 商人外套 一 着
○八等景品 舶來手風琴 一 個
○九等景品 上等折カバン 一 個
○十等景品 机 一 脚
○三十等景品 男持洋傘 一 本
○五十等景品 中折帽子 一 個
○百等景品 大手提金庫 一 個

以下略之

外に副景品として弊店電話番號に當籤の御方には二枚續き白毛布一枚進呈仕候

● 例年之通り來る十五日より三十日迄
● 金壹圓毎に福引券一葉御進呈可仕候
● 今回は特に大強勉一本も空籤無之候
● 籤引一月五日新聞社員立會の上擧行

太 和洋雜貨商 平田商店

京城本町三丁目（電話百十五番）

歲暮大賣出し

勅題意匠半襟 其他品揃

一 歲暮大賣出景品として正札より一割引にて差上可申候間多少に不拘御用命の程伏て奉願候

京城明治町一丁目

京里德支店

明年の初賣出し

明四拾一年一月二日は例年の通り午前二時より正午迄新年大賣出し仕り御祝儀として現金の御買物に限り金高貳圓毎に福引券壹枚づゝ進呈し即時開券景品引換へ可申候 尚ほ特に第壹番より第九番までの御來客様には特別の御祝品呈上可仕候間賑々敷御來店御買上げの程奉懇願候

君か代足袋發賣元

京城本町四丁目

山口呉服店（電話九番）

歲暮大賣出し

蒲團 打弓綿類

太物 呉服

以上

本月十五日より三十一日迄歲暮大賣出し仕り添物進呈致候に付多少に不拘御買上げの程伏て奉希候敬具

京城本町一丁目郵便局前電話百四十七番

若林支店

公債株式 現物賣買

叮嚀、確實、安價に取扱申候間多少不拘御用命之程奉懇願候

龍山町（齊木病院前）

質商 梅尾圓八商店

謹啓各位益御清穆奉慶賀候弊店儀各位の御引立を蒙り日に増し隆盛に相向ひ候段奉鳴謝候却説從來弊店ご密接の關係を有し居り候京城山口大助商店營業全部を弊店に於て引受け同所に支店を設置し從前の通り營業を繼續致し一層叮嚀確實に勉強致し華主各位に對して些の遺憾なきを期し候間何卒舊に倍し御引立の程奉希上候 草々敬具

京城本町五丁目（電話四七番）

統監府 陸軍 御用達

仁川 松尾京城支店

松尾由松

精米業 海軍御用達 居留民 獸肉販賣 酒造業

仁川港各國居留地（電八一番）

松尾商店

拜啓初冬の候益々御清昌奉賀候偖て弊店儀松尾商店を引受け永らく各位の御厚配に預り居候處今般都合に依り從來の業務を其儘復舊以後松尾商店に於て營業相成り御用品は迅速御送達を旨ごし精々廉價を以て御需に被應候間何卒弊店同樣の御思召を以て御愛顧御引立の程奉希上候 敬白

元京城本町五丁目

山口大助

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店及出張所 仁川、釜山、元山、鎮南浦、木浦、群山、平壤、大邱、開城、城津、咸興、馬山、

清國出張所 安東縣

株式會社 第一銀行京城支店

電話番號 營業部 一一番 當座用 同 一二番 營業部 三三二番 國庫部 六一番 用度係 六二番 分拆所 六三番

總支配人 市原盛宏

副支配人國庫部長 竹山太郎

副支配人調査部長 三島純平

副支配人營業部長 市村雄次

廣告

日韓圖書印刷株式會社仁川支店

右者今般營業上の都合に依り明廿七日限り閉店仕候間自今御用の御方は直接本社へ御用命仰付られ度此段謹告仕候也

明治四十年十二月廿六日

京城西小門內

日韓圖書印刷株式會社（電話三三三番）

廣告

藤田合名會社仁川支店

右者今般營業上の都合に依り明廿七日限り閉店仕候間自今御用の御方は直接本社へ御用命仰付られ度此段廣告仕候也

明治四十年十二月廿六日

京城明治町二丁目

藤田合名會社（電話二三〇番）

歲暮大賣出し

味噌醬油製造 乾物荒物罐詰 銘茶食料雜貨

漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店（電話二五一番）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 七拾貳萬圓

京城南大門通（電話四二〇）

株式會社 十八銀行京城支店

本店 長崎市築町

支店出張所 韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州 日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口拾錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目

支店 釜山 仁川 平壤 鎮南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店（電話五八番）

爲替取組先

畿內 二十七ケ所 東山道 十三ケ所 山陽道 七十五ケ所 南海道 二十三ケ所 北海道 五ケ所 臺灣 二ケ所

東海道 二十八ケ所 北陸道 十ケ所 山陰道 十三ケ所 西海道 三ケ所 韓國 九ケ所 清國 一ケ所

歲暮賣出

御進物用和洋菓子 並ニ歲暮用鮭密柑

弊店儀旭橋通り聯合大賣出しに加盟致し御買物五拾錢毎に景品券一枚宛て進呈可仕候

龍山旭橋詰

東京堂

開店披露

弊店儀從來仁川に於て通關運送業罷在候處今般京城御得意樣各位の御勸誘に適ひ南大門驛通りに支店開設仕り確實且つ極めて迅速に取扱可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉懇願候 敬白

仁川驛上 通關運送店 小宮山（電話七一六番）

京城南大門外 同支店

新發明 新案 三德炬燵販賣

本炬燵は

第一 德用 △僅かの炭火を以て長時間の溫熱を保つ

第二 便利 △容積小にして重量極めて輕し

第三 安全 △如何に轉倒せしむるも火氣の漏るゝ憂なし

一度御試用の上其三德の效用を御高評あらんことを希ふ

京城大和町憲兵司令部通

藤垣兄弟商會

日本郵船株式會社 仁川瀛船山帆廣告（電話十番）

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕會（電話三九番）

京城南大門通 巴商店（電話三〇六番）

● 釜山長崎門司神戸行 山東丸 一月二十五日後三時出

● 釜山門司神戸大阪行 淡路丸 十二月三十一日後三時

● 群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 浦汐丸 一月五日後三時出

第一オハヨ號 一月五日後三時出

● 大連、大沽行 酒田丸 月 日後一時出

● 大連行 營口丸 高砂丸 十二月三十一日後一時出

● 大連、秦皇島行 山東丸 一月十四日前九時出

● 鎮南浦安東縣行 第一オハヨ號 浦汐丸 十二月 日後三時出

● 釜山出帆元山行 弘前丸 一月二日

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事